

- 町は早くから保健・医療・福祉に力を入れ、「道の駅」を両神地区の**地域福祉サービスの拠点として位置付け**
- 農林産物直売所での買い物や出品、温泉施設やデイサービスセンターの利用等といった「道の駅」の機能により、**高齢者が集う生きがいづくり・交流の場を形成**
- 併せて「道の駅」にバスターミナルを整備し、谷合の**集落から「道の駅」への高齢者の移動手段を確保**

高齢者の交流・生きがいづくりに資する施設・取組



- ◇ 農林産物直売所
 - ・農林産物を出品する高齢者の生きがいの場となっている
 - ・地域のスーパーマーケット代わり



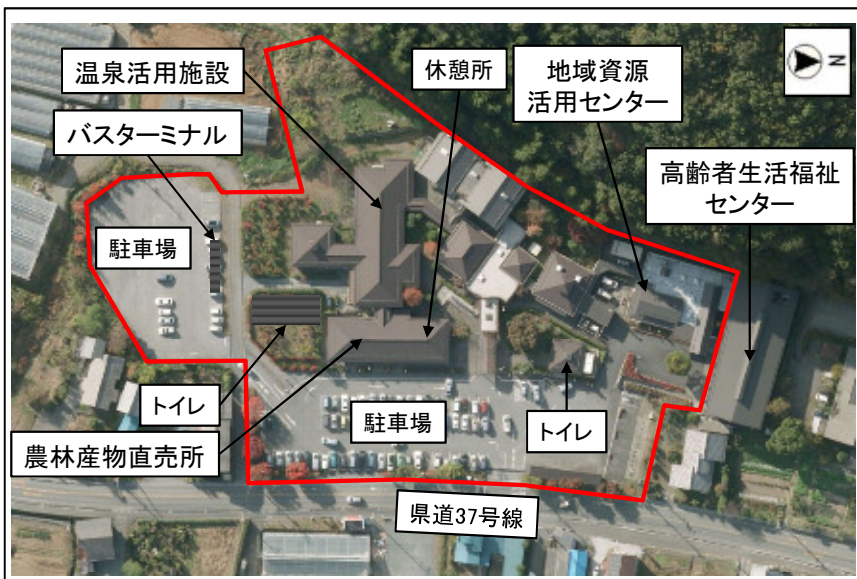
- ◇ 地域資源活用センター
 - ・高齢者が生涯現役で活躍するための就業環境づくり等を目的とした体験交流施設 (約11,000人/年の利用)



- ◇ 温泉活用施設
 - ・会話を楽しむ等、高齢者等地域住民のサロンとなっている。(約74,000人/年の利用)



- ◇ 高齢者生活福祉センター
 - ・デイサービスセンター(約20人/日の利用)
 - ・生活支援ハウス(冬期等の一次滞在)



高齢者の移動手段の確保

- ◇ バスターミナル
 - ・交通手段を持たない高齢者の「道の駅」での温泉入浴・直売所での買い物等の貴重な移動手段となっている。

